

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・小学生、未就学で分けて活動している。 ・現状ではスペースは適切と考えています。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・1対1の個別支援を行う事ができている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・子どもに分かりやすくしている。 ・今後ももっと分かりやすく工夫していく。 ・出来ていない部分については今後実施していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・掃除は分担して行う。 ・毎日清掃をしている。 ・活動に応じて2階の部屋を使える。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・クールタウンの時に使うテントもある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・フィードバックや朝礼を行い周知している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。その内容を業務改善につなげているか。	8		・情報共有し、課題へ取り組めるよう案を出し取り組む。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・管理者がスタッフと個々に面談を行い、ス案や意見も取り上げている。 ・職員間で意見を出し合い、改善する所はすぐ行う。 ・全員が働きやすいように全員の声を聞き業務改善をしている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		・今後の検討課題としたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・専門ごとにZoom研修を受けている。 ・定期的に研修を受講している。 ・全員のスキルアップのため、交代で行っている。
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・一人一人詳しく作成されている。 ・職員間で共有する機会を作っている。 ・ホームページで公表をしている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・契約時にアセスメントでは、保護者様のお話をじっくり聞き、相談支援事業所さまからの計画と照らし合わせながら、当施設の指導計画作成に繋げている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・支援計画作成後、原案を職員で確認し見直しや追加支援事項の有無を話し合っている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・計画に沿った支援を行っている。 ・共有する時間を設けている。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・適ぎ自発管により指示を仰ぎ行う。 ・日々観察している。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・支援計画は具体的な支援内容が設定されて支援している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・専門職員や保育士がチームとなって活動立案を立てている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・繰り返し必要な支援以外は日々変えている ・全員で情報共有を行なながら新しい事にもチャレンジしている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・お子さまの特性やその日の様子に合わせ、臨機応変に活動の組み合わせや変更が行えるようにしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・支援開始前には打ち合わせを行っている。 ・担当や配車。、注意点などを確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・フィードバックを行っており共有している。 ・毎朝、話し合いができる時間を作っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・記録をしっかりと取り、職員間で情報共有し改善につなげている。 ・記録をとり共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・定期的に行っている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・関係機関連携Ⅱにて訪問した際には、利用児童の担任などが必ず参画下さっている。 ・相談支援事業所の担当SWの方々とは必要に応じて話し合いを行っている。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・個々のお子さまの関係する機関とは連携を取れる体制を整えている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・実際に支援している所を見学頂いている。 ・長期休み時の活動ではインクルーシブ活動を行っている。 ・関係機関と密に連携し、支援課題の見直しや課題確認に繋げている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・関係機関を訪問し、すべてにおいて情報共有を行っている。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		・関係機関とのつながりを大切にしている。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		・戸外活動で地域の公園や図書館に行き、交流する時間を設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・普段の療育の様子を実際に保護者の方に見てもらったり、連絡帳を通して共有している。 ・子育てサポートを通して保護者に普段の療育の様子や目的をお伝えしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・外部研修に参加し、報告書にて職員に情報共有している。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に詳しく説明させていただいている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・契約時、アセスメントや関係機関への聞き取りも足を運ぶと共に、相談支援事業所から頂いた計画を踏まえた利用時に最善のサービスが提供できるように意向を確認させて頂く。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・本案作成後に必ず保護者の同意・サイン・押印をお願いしている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・定期的に保護者との面談を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	・今後の検討項目としている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・相談などはお電話やline、連絡帳などのツールでお受けし、迅速に対応できるようにしている。 ・ご家庭により、家族支援にて自宅訪問で対応も行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・SNSにより発信している。 ・HPやインスタグラムで保護者の方に周知させて頂いています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・契約時に、Webサイト掲載の可否を各保護者様に細かく確認し、可否に関する様式を提出頂いている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・職員間で共有しながら適切な配慮が出来るように、朝礼やフィードバック時間 등을置かれている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・今後の検討項目としている。 ・地域のデイサービス施設と春のお花見会を検討している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・マニュアルの策定をしており、定期的に訓練を実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCPを策定しており、訓練を行っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・契約時に保護者さまに確認し、職員間で情報共有を行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・食物アレルギーの利用児はいますが、医師の指示書が必要なレベルのアレルギー児は現在はいません。またおやつや行事の外食などは必要なアレルギー対応は行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・計画の作成や研修、訓練は定期的に実施されている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・常に安全に活動できるように取り組んでいるが、「安全計画に基づく取り組み内容」を保護者様には契約時に重要事項説明書にて周知させて頂いている。 ・セコムの設置等をインスタグラムで配信している。 ・児童をお送りした際や連絡帳などを通して必要事項は周知している。

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・日々の支援で発生したヒヤリハットを事業所内で共有し、原因や背景を振り返りながら再発防止に向けた対策を職員間で検討している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止委員会を開催し、職員の研修へとつなげている。また各部屋にセコムカメラを設置し、事業所内（管理者）事業所外（本社）が常に療育状況が確認出来るようにしている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・保護者の同意を得た事が確認できる書類がある。 ・指導計画にやむを得ず身体拘束が必要な時の文言を記載し、保護者の同意を得ている。